

対象学科	総合ウェディング科		キャリア教育講座I	担当名	田中絵巳/島滝美奈子
対象学年	1 学年	科目名	講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間
対象学期	前期				
到達目標	自ら考え行動できる力を身につける。ウェディング・ホテル業界で働くことの基礎を身につけ、業界の魅力を学ぶ。また、社会人として必要なビジネスマナーを学習し、仕事への基本姿勢、取り組み方、意識を向上し、実践できるようになる。				
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員と医療機関の窓口にて20年間勤務していた教員が、ビジネスマナーをはじめ、社会人基礎力や「身構え・気構え・心構え」を身につけるための授業を行う。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は60点分の課題提出とする				
履修に当たっての留意点	服装:私服・スーツスタイル ※コマによって違うので確認すること 使用教材を確認し、必要なものを持参すること				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	学習の準備など
1	オリエンテーション 導入研修の振り返り 学則の確認 防災教育 (課題点6点)	私服にて パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
2	防災訓練 12時~12時45分あり(詳しくは後日) 履歴書返却 書き方確認 扶養控除と税金について りくナビ登録・1DAYインターン (課題点6点)	私服にて パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
3	ビジネスマナーを身につける① (正しい言葉遣い・敬語・お辞儀) (課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
4	ビジネスマナーを身につける② (挨拶・服装) (課題点6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
5	パソコン講座 メール送付と保存 WEB検索 復習 (課題点6点)	私服にて パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
6	コミュニケーションスキルアップ検定対策 (課題点6点)	私服にて パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
7	コミュニケーションスキルアップ検定	私服にて	授業内容に応じて 自宅学習
8	ビジネスマナーを身につける③ (電話・来客対応) (課題点6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
9	パソコン講座 PPT作成の復習 WEB検索 (課題点6点)	私服にて パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
10	国際教育 夏休みに向けて 業界研究 1DAYインターン	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
11	自己理解を学ぶ ① (自己分析) (課題点6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
12	自己理解を学ぶ② (キャリアビジョンを描く) (課題点6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
13	社会人基礎力 ①	Hand-book of Life Style・パソコン	授業内容に応じて 自宅学習
14	社会人基礎力 ②	Hand-book of Life Style・パソコン	授業内容に応じて 自宅学習
15	後期 オリエンテーション	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科		キャリア教育講座II	担当名	田中絵巳/島滝美奈子
対象学年	1 学年	科目名	講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間
対象学期	後 期				
到達目標	社会人としての基本的なスキル、ビジネスマナーを習得することができる。また、就職を見据え、実習および就職活動に向けての流れを理解し準備することができる。				
学習内容	ウェディング企業にて約7年勤務、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員と医療機関の窓口にて20年間勤務していた教員が、ビジネスマナーの実践を行う。また、ウェディング業界・職種への理解を深め、自分の将来像を明確にするための授業を行う。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は60点分の課題提出とする				
履修に当たっての留意点	服装:私服・スーツスタイル ※コマによって違うので確認すること 使用教材を確認し、必要なものを持参すること				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	学習の準備など
1	ディズニーランド研修	私服	
2	おもてなしとマナー(課題点:6点)	私服	
3	社会人基礎力講座 (自己PR作成)(課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
4	ビジネスマナーを身につける④ (慶弔マナー・名刺交換マナー)(課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
5	ビジネスマナーを身につける⑤ (書類作成マナー・メールマナー)(課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
6	ウェディング・ホテル業界の働く環境を理解する (業界マップ・業界志望動機作成)(課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
7	2年次 進級科目オリエンテーション	私服・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
8	就職活動理解講座 (就職活動の基本的な流れ・オンライン化の注意点) (課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
9	応募書類作成講座 (履歴書の書き方復習・学生時代に力を入れたことの手書き方) (課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
10	企業研究講座 (企業研究を活かして志望動機を作成する) (課題点:6点)	スライド使用 スーツ着用・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
11	2年次履修登録説明	私服・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
12	2年次履修登録	私服・パソコン持参	授業内容に応じて 自宅学習
13	業界講和 ドレス・フラワー・フォト (課題点:6点)	スーツ着用・パソコン持参	
14	ホテル業界就職フェア プランナー・ホテル (課題点:6点)	スーツ着用・パソコン持参	
15	ウェディング業界就職フェア (課題点:6点)	スーツ着用・パソコン持参	

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学	PCスキル I	担当名 (株)ブレンスタッフコンサルタンツ
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・メールマナーを守り送受信できる ・Wordを利用した、ビジネス文書の作成ができる ・訴求力のあるプレゼンテーションスライドを作成できる
学習内容	滋慶学園グループの企業である(株)ブレンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンはフル充電した状態で講義に参加してください ・PCに接続可能なイヤホンまたはヘッドホンと、マウスを準備してください

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	TeamsやOneDriveなどクラウドサービスについて知り活用できる(Teams課題の提出方法)	e-learning CCT入門コース(入門1)	無
2	PCの基本操作ができる・検索力を身につけ問題解決できる	e-learning CCT入門コース(入門2)	無
3	受け取り手に好印象を与えるメールを作成できる	e-learning特別講義コース(メールマナー)	無
4	ビジネスマナーに沿ったメールを作成できる	e-learning特別講義コース(メールマナー実践)	無
5	文書作成ソフトを使って効率的にビジネス文書を作ることができる	e-learning Wordコース(Word基礎1)	無
6	画像や図形を駆使した、社会人レベルの文書を作成できる	e-learning Wordコース(Word基礎2)	無
7	表を駆使した社会人レベルの文書を作ることができる	e-learning Wordコース(Word基礎3)	無
8	Excelの基本を学び講義で必要な操作ができる	e-learningExcelコース(Excel入門)	無
9	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる	e-learningPowerPointコース(1基本操作)	無
10	図形や画像を活用したスライドを作成できる	e-learningPowerPointコース(2表現力を上げる)	無
11	スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる	e-learningPowerPointコース(3動きを付ける)	無
12	スライドをブラッシュアップして完成できる	e-learningPowerPointコース(PowerPointブラッシュアップ)	無
13	クラスメイトのスライドを閲覧し、記載内容について興味を持って質問できる	e-learningPowerPointコース(PowerPoint)	無
14	PowerPoint学習した全内容の総復習	e-learning試験対策コース(PowerPoint)	無
15	PowerPointの基礎的な操作ができる	e-learning試験 コース(PowerPoint)	無

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	PCスキルⅡ	担当名 (株)ブレンスタッフコンサルタンツ
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報倫理を正しく理解し活用できる ・スクラッチを使って簡単なゲームを作ることができる ・Excelを利用した、表計算や表、グラフの作成ができる
学習内容	滋慶学園グループの企業である(株)ブレンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンはフル充電した状態で講義に参加してください ・PCに接続可能なイヤホンまたはヘッドホンと、マウスを準備してください

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	情報化社会のモラルとセキュリティについて正しく理解できる	e-learning特別講義コース(情報倫理1)	無
2	ネット社会に潜む危険と対策について正しく理解できる	e-learning特別講義コース(情報倫理2)	無
3	モバイル機器の活用と管理について正しく理解できる	e-learning特別講義コース(情報倫理3)	無
4	Webによるコミュニケーションについて正しく理解できる	e-learning特別講義コース(情報倫理4)	無
5	身近なAIを知りAIとの協働を考えることができる	e-learning特別講義コース(AIリテラシー)	無
6	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	e-learning Excelコース(Excel基礎1)	無
7	関数やグラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース(Excel基礎2)	無
8	グラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース(Excel基礎3)	無
9	データベース機能を理解し活用できる	e-learning Excelコース(Excel応用A)	無
10	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる	e-learning Excelコース(Excel応用D)	無
11	ブックを活用するさまざまな機能を理解し活用できる	e-learning Excelコース(Excel応用E)	無
12	学習してきたExcel操作を実践できる	e-learning Excelコース(Excel実践)	無
13	データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる	e-learning(データリテラシー)	無
14	Excel基礎1,2,3の内容を繰り返し練習して習得する	e-learning 試験対策コース(Excel試験対策)	無
15	Excelの基礎的な操作ができる	e-learning 試験コース(Excel試験)	無

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	コミュニケーションスキルアップ
対象学期(Q)	前期	講義	・演習・実技・実習
		担当名	石田 智子
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	コミュニケーションスキルアップ検定試験に合格する。社会に通用するコミュニケーション力を身につけるために、効果的なコミュニケーションの方法を体系的に理解する。
学習内容	接客サービスの現場経験をもつ講師が、経験から得た実体験を交えた講義をおこなう。社会の一員として必要なコミュニケーションを自ら考え行動できる人材育成を目指すため体験参加型の授業を行うので、積極的に参加すること。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	コミュニケーションスキルアップ検定テキスト、筆記用具一式を毎回必ず持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	科目オリエンテーション・1章コミュニケーションとは		
2	2章 話す・聴く	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
3	グループでの会話・コンセンサスゲーム		
4	1章.2章まとめ・グループワーク		
5	3章 人間関係を円滑にする表現技術		
6	自己主張の表現パターン	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
7	仕事の上で必要とされる表現技術		
8	プレゼンテーションの基本		
9	アンガーマネジメント・3章まとめ	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
10	4章 社会的スキルの実践 ①挨拶.敬語.案内		
11	②訪問.電話応対		
12	③名刺交換.謝罪.文書作成		
13	5章 サービスマインド	テキスト・筆記用具一式 ●パソコン持参	定期試験はTeamsで実施 パソコンを持参する
14	サービスとホスピタリティ・定期試験対策		
15	定期試験実施		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ブライダル概論 I
対象学期	前 期		担当名 中村 恵理
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30時間

到達目標	ブライダルの基本的な用語を理解し、歴史・慣習・儀式・実務の基礎を学び、結婚及び結婚式について全体像を理解する。
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、現在の結婚式スタイルなどの話も交えながら、婚礼に携わる物として最低限の知識の定着を図る。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	結婚式のスタイルは多様化してきているので、その背景となる歴史や慣習などについて知り、1年時の終わりに受ける検定に合格する基礎知識をつけること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダル業界のイメージ、現状 新郎新婦の気持ちを知る	筆記用具	
2	ブライダルビジネスとは	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
3	ブライダルの基礎知識① 見合い、婚約、結納について	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
4	ブライダルの基礎知識② 挙式スタイルについて	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
5	人前式の基本的な進行と注意点	筆記用具 配布資料(パソコン使用)	
6	ブライダルの基礎知識③ 披露宴、2次会について	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
7	基本的な演出アイテムの特徴と所要時間	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
8	進行表の役割、見方	筆記用具 配布資料(パソコン使用)	
9	結婚の定義 日本及び欧米の結婚式の歴史と文化	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
10	ブライダルアイテム① ドレスコード、衣装(洋装)	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
11	ブライダルアイテム② 衣装(和装、列席衣装)ブーケ、ヘアメイク	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
12	ブライダルアイテム③ 会場コーディネート、ペーパーアイテム	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
13	ブライダルアイテム④ 料理・飲物、写真・映像商品	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
14	ブライダルアイテム⑤ 引出物、引菓子、その他アイテム	筆記用具、BIAブライダルコディ ネーターテキスト(スタンダード)	
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ブライダル概論Ⅱ
対象学期	後 期		担当名 中村 恵理
		講義・演習・実技・実習	単位/時間数 2単位 30時間

到達目標	前期で学んだ知識を実践形式に落とし込みながら基礎知識を定着させ、アソシエイトブライダルコーディネーター検定に合格する
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、現在の結婚スタイルなどの話も交えながら、実際に接客する自分の姿をしっかりとイメージできるように演習を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	前期で学んだ概要を復習しながら、知識をどうやって実務に活かすかを考えること わからないことは自ら積極的に質問をする習慣をつけること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	コーディネーター業務 新規接客と打合せ業務の違い	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
2	新規接客(演習)カウンセリング~会場案内	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
3	新規接客(演習)見積り・空き状況・クロージング	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
4	新規接客(演習)成約手続き	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
5	オーダーシートとは、見積書の更新の必要性	筆記用具、ウェディングプランニングツール	
6	打合せ業務(演習)初回打合せ	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
7	打合せ業務(演習)中間打合せ	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
8	打合せ業務(演習)最終打合せ	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
9	婚礼当日業務とは	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
10	アソシエイトブライダルコーディネーター検定の概要 出題スタイルについて、問題実例	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	
11	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
12	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
13	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
14	模擬問題実施 解説	筆記用具、BIAブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)	間違えた問題の復習
15	定期試験(ASS検定)	筆記用具	

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ゲストハウスウェディングI	担当名	和田 翔太郎
対象学期(Q)	前 期				

到達目標	<p>ゲストハウスウェディングの基礎知識・打合せ・実務の講義を通して、ウェディングプランナーとしての基礎力と心構えを磨く。</p> <p>前期ではゲストハウスを中心にウェディング全般の幅広い知識を身に着ける。</p> <p>後期ではより現場的なロープレなどを行い実践力を身に着ける。</p>																					
学習内容	<p>都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、10年以上のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための講義演習を実施する。</p>																					
成績評価の方法と基準	<p>出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する</p> <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>GPA</th> <th>合計点数</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>4.0</td> <td>90点～100点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3.0</td> <td>80点～89点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>2.0</td> <td>70点～79点</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0</td> <td>60点～69点</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td></td> <td>出席不良</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>0.0</td> <td>59点以下(不合格)</td> </tr> </table> <p>※定期試験は筆記試験とする</p>	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	オリエンテーション ゲストハウスウェディングについて	筆記用具、PC	—
3.4	ゲストハウスの基礎知識: ウェディングスタイル	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
5.6	ゲストハウスウェディングの特徴① ゲストハウス調査ワーク準備	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
7.8	ゲストハウスウェディングの特徴② ゲストハウス調査ワーク発表	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
9.10	ゲストハウスの基礎知識① 業務内容 新規接客	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
11.12	ゲストハウスの基礎知識② 業務内容 プランニング	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
13.14	ゲストハウスの基礎知識③ 業務内容 婚礼当日	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科																									
対象学年	1 学年	科目名	ゲストハウスウェディングⅡ	担当名	和田 翔太郎																					
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間																					
到達目標	<p>ゲストハウスウェディングの基礎知識・打合せ・実務の講義を通して、ウェディングプランナーとしての基礎力と心構えを磨く。 前期ではゲストハウスを中心にウェディング全般の幅広い知識を身に着ける。 後期ではより現場的なロープレなどを行い実践力を身に着ける。</p>																									
学習内容	<p>都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、10年以上のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための講義演習を実施する。</p>																									
成績評価の方法と基準	<p>出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する</p> <table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>GPA</th> <th>合計点数</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>4.0</td> <td>90点～100点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3.0</td> <td>80点～89点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>2.0</td> <td>70点～79点</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0</td> <td>60点～69点</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td></td> <td>出席不良</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>0.0</td> <td>59点以下(不合格)</td> </tr> </table> <p>※定期試験は筆記試験とする</p>					評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																								
A	4.0	90点～100点																								
B	3.0	80点～89点																								
C	2.0	70点～79点																								
D	1.0	60点～69点																								
E		出席不良																								
F	0.0	59点以下(不合格)																								
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参																									

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクとワーク準備	筆記用具、PC	なし
3.4	ヒアリングとプランニング コンセプトメイクワーク発表	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
5.6	プランニングワーク 初回打合せ・招待状	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
7.8	プランニングワーク 配席・引出物	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
9.10	プランニングワーク 進行表・演出・サプライズ	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
11.12	進行表・見積・台帳・発注	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
13.14	集客・ブライダルフェア・ウェディングチーム	筆記用具、PC	先回授業の理解・復習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	ウェディングサービス演習	田島 史雄
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	4単位 60時間

到達目標	1.ウェディングサービスに特化した検定試験「ウェディングサービス検定」に合格する。 2.どの施設でもゲストにサービスできるプロフェッショナルを目指す。
学習内容	外資系シティホテル及びウェディングも行うフレンチのグランメゾン等で、レストランマネージャーとして研鑽を積み、洋食、和食と広くサービスを経験している講師が、教科書に沿いながら、実際の職場でもすぐにサービス実践できるように指導を心掛ける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	「宴会サービスの教科書」を持参し、ビジネススーツでの参加を忘れないこと。 * 髪型、靴、アクセサリを外す等、接客サービスにふさわしい身だしなみの状態に整える

授業回数別教育内容

	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	サービススタッフの基本的マナー/接客の基本動作と姿勢/接客用語と言葉使いのマナー/サービスの基本スキル	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
3.4	ドリンクサービス/ボトルによるサービス/ワインの注ぎ方/ワイン料理に関する知識	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
5.6	宴会サービスとは/宴会サービスの心構え/宴会セクションの組織と役割/備品の扱い方とテーブルセッティング	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
7.8	宴会のサービスの方法/フードメニュー/ナプキン/テーブルプラン	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
9.10	宴会の種類とテーブルプラン/エチケットとマナー/プロトコルの5原則	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
11.12	宴会サービス業務と手順	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
13.14	結婚式会場が決まるまでの業務、挙式・披露宴サービスの流れ□	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
15.16	婚礼サービス1/挙式・披露宴サービスの業務、流れ	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
17.18	婚礼サービス2 挙式・披露宴サービスの流れ(準備)	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
19.20	婚礼サービス3 会場設営/挙式サービスの流れ	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
21.22	結婚式の基礎知識 結婚式とは/挙式のスタイル/関連商品/まとめ1	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
23.24	ユニバーサルマナー 肢体不自由/視覚障害/聴覚・言語/まとめ2	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
25.26	検定対策教科書全範囲復習	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
27.28	検定対策教科書全範囲復習	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
29.30	振り返り 定期試験(ウェディングサービス検定)	筆記用具	

対象学科	総合ウェディング科			担当名	入江信也 遠藤智緒里
対象学年	1 学年	科目名	ウェディングフォト	単位/時間数	2単位 60 時間
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		

到達目標	ウェディングフォト(婚礼写真)の知識を学ぶことで、商品説明ができ、商品手配業務ができる。また、スマートフォンを使用した撮影、編集ができる。
学習内容	ウェディングプランナーとウェディングフォトグラファーである講師がタッグを組んで行う。ウェディングフォトの基礎知識、販売スキル、撮影技術など、ウェディングフォトの魅力を伝える授業。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト・筆記用具・パソコン(指定日)・スマートフォンを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション/素敵なウェディングフォトとは 写真の歴史と日本の通過儀礼について	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
3,4	ウェディングフォトの接客及び業務の流れ ウェディングフォトの商品とは	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
5,6	スタジオ写真「記念写真」「親族写真の並べ方」「新婦和装の振付」について	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
7,8	基礎知識「写真を撮るためのカメラの基礎用語と基礎知識」「カメラの特徴」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
9,10	構図とアングル/プロップ(小物)撮影 スマートフォンを使用して撮影実践	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
11,12	スナップ写真「挙式の式次第と撮影ポイント」「披露宴の進行と撮影ポイント」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
13,14	SNSの効果と注意点/Instagramを使用した広報	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
15,16	スマートフォン撮影とアプリ編集	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
17,18	ロケーションフォト「手順と撮影シーンについて」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
19,20	HWAIIウェディング 海外フォトウェディング「手順と撮影の注意点」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
21,22	フォトコンテスト準備(フォトコンテスト8/28~8/30)	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
23,24	「ウェディングフォトの編集加工テクニック」「製本方法、手配業務について」「アルバム構成テクニック」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン	
25,26	ウェディング映像「商品とその特徴」「映像商品の接客」	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO	
27,28	まとめ/定期試験(JWSA認定試験)	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO	
29,30	PowerPointで、写真集を作ってみよう!	テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン・パソコン	

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1	学年	科目名	フォトコンテスト	担当名 入江信也
対象学期	前	期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間
到達目標	ウェディングフォトの授業で身に付けた知識を活かし、ウェディングフォトを撮影、体験をする。 スマートフォン(またはカメラ)を使用した撮影、編集をし、フォトコンテストに応募をする。				
学習内容	JWSAウェディングフォトスタイリストプログラムの資格を持つ現場のプロが授業を行う。 ウェディングフォトの授業で身に付けた知識を活かし、実際に撮影した写真でフォトコンテストに応募をする				
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題提出とする				
履修に当たっての留意点	筆記用具・パソコン(指定日)・スマートフォン・カメラ(所持している場合)を持参すること				
授業回数別教育内容					
回数	授業内容(予定)		使用教材		業以外での準備学習の有
1	フォトコンテスト1日目 (1限目:オリエンテーション、ロケハン、ドレス選び)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
2	フォトコンテスト1日目 (2限目:ドレスコーディネート、ポージング練習)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
3	フォトコンテスト1日目 (3限目:ヘアメイクリハーサル、ドレスフィッティング練習、装飾)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
4	フォトコンテスト1日目 (4限目:片付け、工程表作成、まとめ)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
5	フォトコンテスト2日目 (1限目:着付、ヘアメイク)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
6	フォトコンテスト2日目 (2限目:撮影)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
7	フォトコンテスト2日目 (3限目:撮影)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
8	フォトコンテスト2日目 (4限目:撮影、片付け)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
9	フォトコンテスト3日目 (1限目:振り返り、画像編集、写真選び)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
10	フォトコンテスト3日目 (2限目:画像編集、写真選び)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
11	フォトコンテスト3日目 (3限目:作品発表)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
12	フォトコンテスト3日目 (4限目:作品発表、提出、総評)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
13	フォトコンテスト 振り返り (1限目)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
14	フォトコンテスト 振り返り (2限目)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		
15	フォトコンテスト 振り返り (3限目)		テキスト:JWSA③ WEDDINGPHOTO スマートフォン、カメラ		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	アテンド・キャプテン・司会実践A/B
対象学期(Q)	後 期	講義	演習・実技・実習
		担当名	唐橋 誠治
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	『婚礼におけるアテンド・キャプテンの動きと司会の役割と技術について学ぶ』 施行スタッフとして、事前準備や当日運営に必要な知識と技術を学び、結婚披露宴の1日を組み立て運営出来る力を身に付けさせる。特にHWプログラムを検討する学生は実際に使用する第二校舎3F(リュミエール)にて当日の運営に役立せる。
学習内容	ブライダルキャプテンにて400組以上の新郎新婦を担当した講師が、事前準備を含む当日運営に必要なサービス方法と各役割ごと(アテンダー・CAP・司会など)の動き方を実際にHWが施行される第二校舎3F(リュミエール)を使用して指導します。基本マニュアルと基本の披露宴進行表をベースに授業を行い、全役割を把握する内容とします。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たったの留意点	※唐橋メモ アテンダー・司会の先生の出講授業については大松先生と要相談

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	【座学】受付・クローグについて 【動画】過去のハウスウェディング、サービス全般1日の流れ お客様の動き・スタッフ導線を確認	プリント受付編①	
3,4	【座学】ホワイエでの振る舞い、食前酒やドリンクについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯①(講師主導)	プリントホワイエ編②	
5,6	【座学】料理アレルギーについて 迎賓・新郎新婦入場・ウェルカムSP・乾杯②(学生主導)	プリント料理アレルギー③	
7,8	【座学】披露宴スタートからお色直しまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀①(講師主導)	プリント披露宴スタートから④	
9,10	【座学】お色直しからお見送りまで 食事スタート(サービス方法の確立)・ケーキ入刀②(学生主導)	プリント料理・アレルギー⑤	
11,12	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)① 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞① (講師主導)		
13,14	【座学】オリジナルウェディングを考える(模擬披露宴設定)② 中座・再入場・テーブルラウンド・手紙・謝辞② (学生主導)		
15,16	【座学】役割決定、アテンダー、キャプテン、司会等 リハ披露宴前半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
17,18	リハ披露宴後半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
19,20	模擬披露宴本番(1回目)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
21,22	【座学】1回目の反省とオリジナルウェディングを考える (設定変更・役割変更)		
23,24	リハ披露宴前半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
25,26	リハ披露宴後半部分	アテンド・小澤先生 司会・長谷川先生	
27,28	模擬披露宴本番(2回目)(※披露宴時間は90分を予定する)	お客様役は評価表にてチェック	
29,30	定期試験(座学で学んだ内容)		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	宿泊サービス演習
対象学期	後 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	丸毛 浩一
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	宿泊部門の基礎知識及び基本スキルを身に付け、ホテルマンとして宿泊サービス演習が系統だっで行える実務能力を発揮する事が出来る。
学習内容	ホテル業界で宿泊サービス並びに担当支配人、総支配人の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へ宿泊部門の実務を自信を持ってモチベーションを高め実演できる授業を実施する。
成績評価の方法と基準	<p>出入点40点、定期試験60点、合計点数100点にて成績を算出する</p> <p>評価 GPA 合計点数</p> <p>A - 4.0 90点～100点</p> <p>B - 3.0 80点～89点</p> <p>C - 2.0 70点～79点</p> <p>D - 1.0 60点～69点</p> <p>E - 出席不良</p> <p>F - 0.0 59点以下(不合格)</p> <p>※定期試験は筆記試験とする</p>
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参 実技実習に備え毎週スーツ(制服)着用及びメモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びP C(講義授業)を忘れず持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	後期の授業概要を理解する 宿泊部門の基本姿勢を実践、理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	ホテルと宿泊部門の使命と役割及び業務の流れを理解する 組織及びスタッフに求められる資質・能力について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	ロビー・サービス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	ロビー・サービス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う I (バルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
6	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う II (バルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
7	フロントオフィス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
8	フロントオフィス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
9	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う I (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
10	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う II (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
11	ハウスキーピング業務について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
12	ロビーサービス～フロントサービス業務の実践を行う I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
13	ロビーサービス～フロントサービス業務の実践を行う II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
14	宿泊サービス前期授業を復習し、理解を深める	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ホテルウェディング
対象学期	前 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	廣瀬 祐子
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼に携わるホテルスタッフとして、他部署やパートナー企業との役割や連携の重要性を理解し、他施設にはないホテルウェディングの魅力を知る
学習内容	ホテル、ゲストハウス、プロデュース会社にて勤務経験のある講師が、ホテルで実際に経験した内容を交えながら、他部署との上手な関わり方やホテルウェディングにしかない魅力をグループワークを通して学べる授業を実施。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下（不合格） ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具は毎回持参してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容（予定）	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・ホテルウェディングを学ぶ目的	筆記用具	
2	ホテルウェディングの歴史・特徴	PC	
3	ホテルにある部署・役割とパートナー企業		
4	ホテルウェディングに必要な専門知識・ホテル用語		
5	ホテルウェディングを求める新郎新婦像		
6	ホテルスタッフに必要な資質（グループディスカッション）		
7	ホテルスタッフに必要な資質（発表）		
8	ホテルウェディングの準備フロー・他施設との違い		
9	ホテルウェディングの業務①（プランナー新規接客解説）		
10	ホテルウェディングの業務②（新規接客練習）		
11	ホテルウェディングの業務③（新規接客ロールプレイング発表）		
12	ホテルウェディングの業務④（初回打合せ～最終打合せ解説）		
13	ホテルウェディングの業務⑤（結婚式本番施行解説）		
14	ホテルウェディングの魅力・まとめ		
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ホテルビジネス
対象学期	前 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	丸毛 浩一
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ホテル全般に於ける知識を学習し、ホテルビジネス実務検定を取得する事に依り、ホテル研修や就職した際に業務における円滑なコミュニケーションと基本業務が行え、ホテルエとしてのプロフェッショナルな人材を育成する。
学習内容	ホテル業界で長きにわたり、担当支配人、総支配人及び本部経験の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へホテル実務全般基礎知識と検定取得を自信を持って行える授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 授業概要の理解 第1章 ホテルの基礎 第1節 観光産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
2	第1章 ホテルの基礎 第2節 ホテル産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
3	第1章 ホテルの基礎 第3節 実務者として必要な基礎知識 第4節 ホテル英語の基礎	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
4	第2章 宿泊部門 第1節 宿泊部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
5	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
6	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
7	第3章 料飲部門 第1節 料飲部門の概要 料飲部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 701選	当該授業の反復学習
8	第3章 第2節 料飲部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
9	第4章 宴会部門 第1節 宴会部門の概要 宴会部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
10	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
11	第5章 調理部門 第1節 調理部門の概要 調理部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
12	第5章 調理部門 第2節 調理部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
13	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
14	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	リゾートウェディング
対象学期	後 期		担当名 島瀧 美奈子
		講義・演習	実技・実習
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	国内外のリゾート地の特徴を学び、リゾートだからできるウェディングについて調べる。リゾートウェディングの場合、打合せが遠隔になることが多いため、リゾートの魅力をどのように伝えることができるかなど、語彙力・プレゼンテーション能力を高める。
学習内容	リゾートならではの魅力をエリアの観光地と共に解説。語彙力・プレゼンテーション能力を具体的に取り入れた授業を実施。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターテキストを持参。筆記用具持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・リゾートウェディングについて		
2	リゾート地のピックアップ (グループワーク)		
3	リゾート地の魅力 (グループディスカッション)		
4	リゾートウェディングの変遷		
5	リゾートウェディングの魅力について (グループディスカッション)		
6	【プレゼンテーション】 リゾートウェディングの魅力とは		
7	リゾートウェディング カスタマー分析		
8	インタビュー内容についてのまとめ (グループワーク)		
9	【特別授業】 リゾートホテル社員へのインタビュー		
10	インタビューした結果のレポートまとめ (グループワーク)		
11	各種ウェディングの分析 *ゲストハウス・ホテル・リゾート・専門式場・レストラン 等		
12	各種ウェディングの違いなどをまとめる (グループワーク)		
13	【プレゼンテーション】 リゾートウェディングの特異性とは		
14	まとめ		
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ドレススタイリスト I	担当名	福島圭子・坂田依智子
対象学期(Q)	前期	講義	・(演習)・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	婚礼衣装及び小物類を丁寧に取り扱いことができ、洋装の正しいフィッティングができる。使用した教材を元の場所に戻すことができる
学習内容	ドレスブランドマジェリにて、500組以上の婚礼にウェディングスタイリストとして携わってきた教員と、ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にてウェディングスタイリストとして長きにわたり式場やホテルの現場で婚礼衣裳業務に携わってきた教員が、婚礼衣装の知識の講義と正しい技術を身につけるためのフィッティング演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手、(インナー)を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1.2	スタイリストの仕事について ドレスルームの使い方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
3.4	ドレスの基礎知識～シルエット・ディテール ドレスの取り扱い方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
5.6	ドレスの基礎知識～装飾・色・素材 ドレスのフィッティング手順	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
7.8	ドレスの基礎知識～サイズ・ドレス小物 ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
9.10	ドレス小物のフィッティング手順 ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
11.12	フォーマルウェアの基本 ブライダルインナーとは	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
13.14	新郎衣装の知識 新郎衣装のフィッティング手順	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
15.16	新郎衣装と小物のフィッティング メンズフォーマルのネクタイの知識とフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
17.18	ブライダルインナーの必要性和フィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田
19.20	ドレス小物の確認とフィッティング ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
21.22	インナーをつけてウェディングドレス・ 小物のフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
23.24	インナーをつけてカラードレス・小物のフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
25.26	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
27.28	ドレスとメンズ衣装の基礎知識の復習 ドレスのフィッティングの復習	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
29.30	定期試験			坂田 福島

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ドレススタイリストⅡ
対象学期(Q)	後 期	講義	・(演習)・実技・実習
		担当名	坂田 依智子・福島圭子
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	衣装決定までの流れを習得し、トータルコーディネートを含めた衣装提案ができる。 婚礼和装の衣装選びを正しい知識でご案内ができる。
学習内容	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ウェディングスタイリストとして長きに渡り式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員と、ドレスブランドマシェリにて、500組以上の挙式にスタイリストとして携わった教員が、現場での経験を伝えながら指導する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験及び実技試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外の準備学習の有無	担当講師
1.2	衣装決定までの業務について	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
3.4	カウンセリングの手法 衣装選び、衣装のプレゼンテーションについて	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
5.6	ドレス小物のコーディネート/接客アテンドと花嫁様へのアドバイスの実践、ドレスフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
7.8	ドレスとメンズ衣装のフィッティングとポージング ドレスとメンズ衣装の組み合わせ	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
9.10	トータルコーディネートについて～イメージ	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
11.12	グループに分かれ、ネットの画像から「キュート(WD)」をトータルコーディネートし、コラージュ作成	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
13.14	「キュート(WD)」コーディネートのコメント作成、発表、意見交換、フィードバック	[テキスト]JWSA ウェディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
15.16	新婦の和装について 打掛、引き振袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
17.18	新婦の和装について 文様を調べる	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
19.20	新婦の和装について 打掛のフィッティング	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
21.22	新郎の和装について 紋服のたたみ方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
23.24	家紋、列席衣装の和装について 留袖のたたみ方	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
25.26	和装コーディネート、トレンドについて	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田
27.28	定期試験に向けて総復習	[テキスト]JWSA ウェディングファッション 白手	授業内容に応じて自宅学習	坂田・福島
29.30	定期試験			坂田・福島

対象学科	総合ウエディング科		
対象学年	1 学年	科目名	ドレスメンテナンス
対象学期	後 期	講義	・演習・実技・実習
		担当名	北沢聡子
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ドレスメンテナンスの為に必要な技術演習を行いドレスコーディネーターに必要なメンテナンス技術を習得する
学習内容	ドレスデザイナー・コーディネーターとして10年以上の経験を持ち、上級洋裁講師でもある教員がドレスメンテナンスの基本を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の持ち物を確認し、忘れずに持参して授業に参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	様々な衣装店の形態を学びオリエンテーションを通して目標を確認する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	裁縫道具の点検
3,4	道具の使い方について理解し、針と糸の扱いを演習する、運針と4つの基本縫いの意味を理解する	テキスト・筆記用具・裁縫道具	運針の練習
5,6	4つの基本縫い実習	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	基本縫いの復習
7,8	メンテナンスの種類について理解し、ループの指編み実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング	指編みの復習
9,10	メンズフォーマルのメンテナンスについて理解し、ボタン付け・スラックスの丈上げ実習を行う	テキスト・筆記用具・裁縫道具・シーチング・メンズスーツ	ボタン付けの復習
11,12	ホック・スナップ・パール・ビーズ・スパンコール・レースの取り付け実習を行う	シーチング・オーナメント一式・テキスト・裁縫道具	ホックやスナップを付け直す
13,14	アイロンの種類とかけ方を学び、アイロン実習	アイロン・衣装・筆記用具	自分のスーツにアイロンをかける
15,16	ドレスのお直しの箇所を理解し、直せるかどうかの判断とピン打ち実習	ドレス・裁縫道具・筆記用具	マチ針の扱いの復習
17,18	ドレスのお直し実習	ドレス・裁縫道具	お直しのコツの復習
19,20	ドレス・メンズフォーマルのサイズについて理解し、採寸実習を行う	メジャー・ブライダルインナー・ティーシャツ・筆記用具	採寸のポイントの復習
21,22	染み抜きと匂い取りの仕組みについて学び、染み抜き実習を行う	タオル・洗剤・ベンジン・筆記用具	自分の服の染み抜きをやる
23,24	芯について学び、特殊素材のチュールでリボンを制作する	チュール・テキスト・オーナメント・裁縫道具	制作したリボンに止め具を付ける
25,26	基本縫いを基にピンクッションを制作する	サテン・フェルト・綿・オーナメント・裁縫道具	提出物を切の良いところまでやっておく
27,28	ピンクッションの仕上げ、定期試験二向けの総復習	裁縫道具・筆記用具	試験勉強
29,30	定期試験	筆記用具・提出物	—

対象学科	総合ウェディング科			担当名	伏見さゆり・丹羽 律		
対象学年	1 学年	科目名	ブライダルフラワーアレンジ I		単位/時間数	4単位 60 時間	
対象学期	前 期		講義 (演習) 実技 ・ 実習				

到達目標	ブライダルにおける花との関わりや、基本的な花の知識を学びブライダル業界で働く事に対する意識を芽生えさせ、専門的知識を説明することができる。																					
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として7教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動しております。 ブライダル業界に密接な関係性がある花について、専門用語・種類や特徴を理解し、学びを通じてモチベーションを高め、基礎知識についての講義と実技を実施する。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>GPA</td> <td>合計点数</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>4.0</td> <td>90点~100点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3.0</td> <td>80点~89点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>2.0</td> <td>70点~79点</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0</td> <td>60点~69点</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>-</td> <td>出席不良</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>0.0</td> <td>59点以下(不合格)</td> </tr> </table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点~100点	B	3.0	80点~89点	C	2.0	70点~79点	D	1.0	60点~69点	E	-	出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点~100点																				
B	3.0	80点~89点																				
C	2.0	70点~79点																				
D	1.0	60点~69点																				
E	-	出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。*忘れ物をすると作品が制作できません。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	フラワーアレンジメントに用いる資材、フォーカルポイント・メカニカルフォーカルポイントについて理解する。水揚げ方法・生花の切り分け方、生けた後のケアを理解する。生花の切り分け方を実施(1人6~10本程度)	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4~P25まで自宅学習
3.4	生花作品①「ラウンド」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P98自宅学習
5.6	生花作品②メインテーブルフラワー「ホリゾンタル」作成の実施。	教科書・トレイ・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95自宅学習
7.8	花の分類・植物の生育、科の種類のそれぞれの特徴を理解する。アレンジに使われるグリーンについて理解する。 生花作品③「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26~P39まで自宅学習
9.10	四季の花や、花の季節行事を例示する。カラーコーディネートについて理解する。ワイヤリングとテーピング・リボンワークの扱い方を理解する。 生花作品④「フレンチボウ(リボン)」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P40~57まで自宅学習
11.12	コサージュについて理解する。生花作品⑤「3ポイントコサージュ」&「ヴァーティカル」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P58~P61まで・P103自宅学習
13.14	ウェディングブーケに関わるオーダー制作方法・管理方法について述べる事ができる。花づくりをする前に肥料や植物の特徴を理解する。エディブルフラワーについて理解する。生花作品⑥「ブーケホルダーと巻き上げ&ブートニア」&「ラウンドブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62~P73まで・P104自宅学習
15.16	生花作品⑦「ラウンドブーケ」&「ティアドロップブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P105自宅学習
17.18	生花作品⑧「ウェルカムボード」&「ファン」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P100自宅学習
19.20	ギフトと花の関係性、リボンワーク・ラッピング(保水)について理解する。 生花作品⑨「鉢のラッピング」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P74~P79まで自宅学習
21.22	生花作品⑩「ナチュラルステムブーケ(花束)」&「スワッグ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P78~P79まで自宅学習
23.24	ドライフラワー・押し花の特徴、管理方法注意点を理解する。 プリザーブドフラワーの扱い方、特徴・種類管理方法注意点を理解する。 プリザーブドフラワー作品⑪「プリザーブドフラワーアレンジメント」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P80~P89まで自宅学習
25.26	基本デザインアレンジメント&ブーケ、アレンジメント用語の説明ができる。生花作品⑫「トライアングュラー」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通のハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P90~P127まで・P95自宅学習
27.28	生花作品⑬「試験練習ホリゾンタル」&「試験練習トライアングュラー」作成の実施。	教科書・トレイ・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95・P103自宅学習
29.30	定期試験・EFD2級インストラクターライセンス筆記検定対策	教科書	第1回~14回講義内容自宅学習

対象学科	総合ウェディング科			担当名	門脇
対象学年	1 学年	科目名	セルフビューティー(メイク&ネイル)A/B	単位/時間数	4単位 60 時間
対象学期	前後 期		講義 ・ (演習) ・ 実技 ・ 実習		

到達目標	基礎的なメイク知識やテクニックを学び、理論的な考えの基、セルフでメイクを施せられるようになる。自分自身の美意識も接客サービスや身だしなみの一つとして考え、好みのメイクだけに偏らず様々な印象のメイクが出来るようになる。
学習内容	講師は、外資系メイクブランドのMACにて6年間美容部員を勤めた後、フリーランスに転身。様々な現場のメイクアップアーティストとして従事した後、現在は自身のアイブロウサロンで一般のお客様へアイブロウ施術やメイクレッスンをを行いながら、美容専門学校にてメイク講師として勤めている。セルフビューティの授業ではメイクの基本的な知識やテクニックを学び、生徒自身のメイク技術と美意識を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎授業で自分の化粧道具を持参(どんなアイテムを使用するかは毎授業のコマシラバスを参照)持っていない道具は推奨しているメイク道具を準備お願いします。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	講師自己紹介・生徒他己紹介・授業内容説明とアンケート		
3,4	基本的なアイブロウの描き方・黄金比		
5,6	印象別のアイブロウの描き方		
7,8	アイシャドウの塗り方・グラデーションの作り方		
9,10	ベースメイクの塗り方、ツヤ肌メイクの作り方		
11,12	パーソナルカラーとは①ブルーベース・イエローベース		
13,14	パーソナルカラーとは② 4つのシーズンを知る		
15,16	フルメイクのバランスの取り方		
17,18	印象別メイク①フェミニンメイク		
19,20	印象別メイク②クールメイク(立体メイク)		
21,22	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート①		
23,24	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート②		
25,26	結婚式の参列メイク①		
27,28	結婚式の参列メイク②		
29,30	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	フラワーデザイン
対象学期	後 期	講義	・演習・実技・実習
		担当名	松浦麻子
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	デザイン案作成、作品制作、プレゼンシート作成、プレゼンテーション、を通し、企画を説明し魅力を伝える提案ができる。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員がデザイン、ラフスケッチ→作品とプレゼンシート制作→プレゼンテーションを教える。デザイン実現と柔軟なプレゼンテーション力を習得する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	デザイン・作品・シート作成まで内容の関わりを活かし、機会を捉えるプレゼンテーションを行う

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	単体(花、資材、石など)のスケッチ、ゲストテーブルアレンジメントのデザインとラフスケッチ	筆記用具	なし
3,4	アレンジメントの制作 プレゼンシート材料の作成	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等) 筆記用具 持帰り袋	なし
5,6	用紙と着彩道具の解説 着彩 プレゼンシートカラーリングの基本	前回までに描いたイラスト 撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)	進捗により、データをPCへ取り込む等
7,8	プレゼンシートレイアウトの基本 プレゼンシート作成	ノートパソコン	なし
9,10	プレゼンテーション	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ	なし
11,12	近景のスケッチ、ウェルカムリースのデザインとラフスケッチ	筆記用具	なし
13,14	着彩 プレゼンシート①の作成 シュミレーション	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等) 筆記用具	なし
15,16	ウェルカムリース制作 プレゼンシート材料の作成	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)持帰り袋	進捗により、データをPCへ取り込む等
17,18	プレゼンシート②の作成	ノートパソコン	なし
19,20	プレゼンテーション	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ	なし
21,22	平面図を描く、受付装花のデザインとラフスケッチ、着彩	筆記用具 定規	なし
23,24	プレゼンシートの作成	ノートパソコン	なし
25,26	プレゼンテーション	ノートパソコンまたはプレゼンシートのデータ	なし
27,28	受付装花制作	撮影でき、画像を紙かデータで使えるもの(スマートフォン等)持帰り袋	なし
29,30	定期試験	筆記用具	なし

対象学科	総合ウェディング科			担当名	岡永めぐみ
対象学年	1 学年	科目名	パーソナルカラー検定A・B	単位/時間数	2単位 30時間
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		

到達目標	ブライダル業界において、どの分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に、実際の現場においても活用出来る「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身につけることが出来る基礎知識を身につける。
学習内容	色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識とともにパーソナルカラー検定の資格取得をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込まず、ノートを用意してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P7、P9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P14
5	4つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	1週間ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P19
8	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P25
9	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P26
10	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
11	対比、反射の影響を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	授業で終わらなかったプリント
12	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P30、P31
13	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	問題集P11
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具	

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	英会話演習A/B	ILC
対象学期	前後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	2単位 30時間

到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝達する・相手が言っていることを理解する、などの基本の英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する。
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信を持って対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習してくる。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。

授業回数別教育内容

回数・日程	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	<ul style="list-style-type: none"> ■コース紹介 ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about travel 旅行について話すことができる ■Can discuss tours ツアーについて議論することができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 1	授業内容に応じて、自宅学習
2	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can talk about jobs 仕事について話すことができる ■Can deal with check in at the airport 空港チェックイン対応ができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 2 & 3 -A	授業内容に応じて、自宅学習
3	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can understand directions at an airport 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations 入国審査の手続きについて話すことができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 3 -B & 4	授業内容に応じて、自宅学習
4	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can deal with lost items at an airport 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accomodation ホテルの空き状況についての問い合わせに対応できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 5 & 6-A	授業内容に応じて、自宅学習
5	<ul style="list-style-type: none"> ■Can check guests in and out お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food ホテルの朝食やファストフードについて話すことができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 6-B & 7	授業内容に応じて、自宅学習
6	<ul style="list-style-type: none"> ■Can explain sighseeing tours 観光ツアーについて説明できる ■Can assist guests with souvenir shopping お客様がお客様を購入する際にサポートできる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 8 & 9	授業内容に応じて、自宅学習
7	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with transportation needs 公共交通機関についてお客様のサポートができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 10	授業内容に応じて、自宅学習
8	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can assist customers with problems and health issues トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 11	授業内容に応じて、自宅学習
9	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain transport options to the airport 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan 旅館の手続きを説明できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 1&3, 4&5	授業内容に応じて、自宅学習
10	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can explain Japanese meals at a Ryokan 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs 日本のお土産について説明できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	授業内容に応じて、自宅学習
11	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can buy bullet train tickets 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi タクシーを利用できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	授業内容に応じて、自宅学習
12	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give advice on sightseeing 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours 市内観光について説明できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	授業内容に応じて、自宅学習
13	<ul style="list-style-type: none"> ■Warm Upアクティビティ: 英語コミュニケーションゲームなど ■Can give recommendation for places to visit 観光のおすすめスポットを提案できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	授業内容に応じて、自宅学習
14	<ul style="list-style-type: none"> ■Review of course materials-cosolidation through role play これまで学習した内容の復習—ロールプレイを通して理解を強化 ■Test Preparation 試験勉強 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験	/	/

対象学科	総合ウェディング科					
対象学年	1 学年	科目名	韓国文化演習A	担当名	JWSA 近藤	
対象学期(Q)	前後 期		講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位

到達目標	韓国文化・トレンド・言語を学ぶとともに、韓国での観光、結婚式のかたちを理解し、今人気の韓国風フォトウェディングを創り出し、提案する力を身につけることができる
学習内容	・韓国出身のネイティブ講師が、自分の経験を基に教育する。日本で長年に渡り接客経験がある講師の実体験に基づく日本文化との違い・異文化での結婚式について興味・関心を持てる授業を実施する ・ウェディングフォトのベテラン講師が韓国の文化に沿いながら韓国風ウェディングフォトの撮り方を実践できる授業を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないよう出席すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	オリエンテーション・授業の内容の説明 韓国の概要(文化・民族特性など) 韓国のホテルについて (有名な観光地やホテルのおもてなしなど)	講師作成 プリントやPPT・映像など	
3,4	韓国のブライダルについて (韓国での結婚観や結婚式の特徴について) 韓国ブライダルについて (韓国と日本の結婚式の比較)	講師作成 プリントやPPT・映像など	
5,6	韓国語(日常会話) 韓国の民族衣装やアイテムについて (民族衣装「チマチョゴリ」試着体験)	講師作成 プリントやPPT・映像など	
7,8	韓国風ウェディングフォトの概要説明 撮影会に向けて準備をはじめる① コンセプトシートの作成 韓国風ウェディングのヘアメイクやコスメについて		
9,10	韓国風ウェディングフォトの準備② (ウェディングフォトで着たいドレスを探す) コンセプトシートの作成		
11,12	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
13,14	韓国風ウェディングフォト撮影会	※外部スタジオで開催予定	
15	定期試験	1～3回目の授業を中心&ウェディングフォトのコンセプトシート提出と振り返りを記入する内容	

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	マーケティングA	長谷川 円香
対象学期	前 期	講義 ● 演習 ● 実技 ● 実習	単位 30 時間
到達目標	ブライダル業界のマーケティングの基礎知識を得ることで、効果的な集客に対する適切な広報活動方法を身につける。サービスの魅力をお客様向けに表現することを目標とする。		
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何もわからなくても受講可能な入門中の入門編。楽しく学ぶマーケティングの基礎		
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする		
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること		

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P /4C】	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	共感を呼ぶコンテンツづくり ハッシュタグ研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう！ マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	【グループワーク】準備 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	【グループワーク】発表 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	集客案作成①マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	集客案作成②マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客案作成③マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客案作成④マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	マーケティングB	長谷川 円香
対象学期	後 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界のマーケティングの基礎知識を得ることで、効果的な集客に対する適切な広報活動方法を身につける。サービスの魅力をお客様向けに表現することを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリーランナー経験8年・フリーMC歴15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何もわからなくても受講可能な入門中の入門編。楽しく学ぶマーケティングの基礎
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P /4C】	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	共感を呼ぶコンテンツづくり ハッシュタグ研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう！ マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	【グループワーク】準備 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	【グループワーク】発表 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	集客案作成①マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	集客案作成②マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客案作成③マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客案作成④マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	総合ウエディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ブライダルジュエリーAB	担当名	北沢聡子
対象学期	前・後 期		講義	演習	実技
		単位/時間数	2単位	30時間	

到達目標	婚礼に使われるジュエリーとアクセサリーについて例示し、宝石についての知識と興味を持って美しいイメージを顧客に持ってもらえるような接客力を発揮し、知識を持ってジュエリーショップに就職も視野に入れる
学習内容	最大手のメーカーでドレスのデザイナー・関連小物の企画、ドレスコーディネーターを勤めてきた講師が長年にわたり収集した世界中の王家・名門貴族・セレブリティのジュエリー画像、世界の流行を変えたジュエリー、ハイブランドの特徴や日本のブランドの画像をふんだんに使いながらジュエリーの世界を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノートを取りなるべく本物を見るように提示された場所に行ってみる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルジュエリーの種類と宝石の知識の重要性	講師資料	自分の誕生石を調べる
2	フォーマルウェアと宝石、欧米諸国と日本の違い	講師資料	授業復習
3	誕生石について学びながら基本知識を深める	講師資料	授業復習
4	ダイヤモンドについて	講師資料	婚約指輪の理想を考える
5	婚約指輪・結婚指輪について	講師資料	結婚指輪の理想を考える
6	5大ジュエラーとグランサンク	講師資料	ヴァンドーム広場を検索する
7	世界のハイブランドと日本のブランド	講師資料	授業復習
8	世界のティアラ・ティアラを着ける効果	講師資料	授業復習
9	パリュールについて	講師資料	授業復習
10	ドレスとブライダルジュエリーのバランス	講師資料	授業復習
11	日本が世界に誇る真珠について	講師資料	授業復習
12	ドレスにブライダルジュエリーを合わせてみよう	ブライダルインナー	授業復習
13	模造宝石の進化と市場	講師資料	授業復習
14	最近のブライダルジュエリーの傾向	講師資料	試験勉強
15	定期試験		

対象学科	総合ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	オフィスワーク・マナー講座A / B
対象学期	前・後 期	講義	・ 演習 ・実技・実習
		担当名	田中 絵巳
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	<p>「ブライダル業界の社会人1年目に必要となる、敬語・日本のしきたり・マナーの基礎知識を学び、その項目に対し相談に乗れるようになること」</p> <p>①認知:敬語・日本のしきたり・マナーの基礎を理解し、説明できる ②感情:「マナーを体現できる存在」と思える自己効力感がある ③行動:マナーが必要な場面のケーススタディを個人ワーク・グループワークを通じて考え・話し合う ④対人関係:マナーの相談に乗れる人材になる</p>
学習内容	<p>ウェディング企業にて約7年勤務のち、ウェディング関連の専門学校にて4年登壇していた教員が実際に現場で必要と感じたマナーの基礎知識を【敬語講義→知識解説→ケーススタディ→ワーク→解説】の順で教える。</p> <p>◆学習内容:立ち居振る舞い、おもてなし、訪問、挨拶とお辞儀、ブライダルマナー、食事のマナー、ビジネスマナー</p>
成績評価の方法と基準	<p>出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する</p> <p>評価 GPA 合計点数</p> <p>A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格)</p> <p>※定期試験は筆記試験とする</p>
履修に当たっての留意点	<p>服装:私服 持ち物:パソコン使用 コマによって筆記用具・ワークに必要なものを持参(前週にも案内)</p>

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【オリエンテーション】 正しい敬語の使い方	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
2	【美しい立ち居振る舞い】 座り方/物の持ち方/受け渡し方	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
3	【おもてなしのマナー】 準備/出迎え/お茶の出し方/見送り	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
4	【訪問のマナー】 玄関/コート/手土産	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
5	【挨拶とお辞儀】 お辞儀の仕方/日常会話	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
6	【ブライダルマナー①】 招待状/受付/祝儀袋	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
7	【ブライダルマナー②】 ブライダルギフト/熨斗	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
8	【ブライダルマナー③】 席次表/肩書き	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
9	【ブライダルマナー④】 両家挨拶/日取り	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
10	【食事のマナー①】 和食(美しい箸使い/椀と器)	教材(スライド) パソコン・割り箸・お椀持参	授業内容に応じて、 自宅学習
11	【食事のマナー②】 洋食(テーブルマナー/座り方/ナプキン)	教材(スライド) パソコン・ハンカチ持参	授業内容に応じて、 自宅学習
12	【食事のマナー③】 フォーマルな席でのマナー	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
13	【ビジネスマナー①】 身だしなみ/来客対応/電話	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
14	【ビジネスマナー②】 名刺交換/車での席次/手紙・メール	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習
15	総復習 振り返り テスト 60点分 定期試験	教材(スライド) パソコン持参	授業内容に応じて、 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科			担当名	松浦 麻子		
対象学年	1 学年	科目名	ブライダルブーケ A・B		単位/時間数	2単位 60 時間	
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習	実技		実習	

到達目標	ブーケ、ヘッドレス等作成の実技を通して得る生きた知識を自分の専門分野に活用できる。ブーケスタイルによる特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応などを説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。プランナー等各専門分野に役立つ着眼点で、花材の種類、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	生花を使う場合は水揚げ作業あり/毎回の授業に振り返り有り/作成物毎回持帰り

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1.2	授業オリエンテーション 【ドライフラワーのクラッチブーケ】取扱いと作り方説明 ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3.4	【生花のクラッチブーケ】 現場取扱いと水揚げ説明 水揚げ・ブーケ・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5.6	【生花の花冠】 注意点説明 花冠作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7.8	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 ブーケホルダー使用 取扱説明 ブーケ(ブートニア)作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9.10	【生花のラウンドブーケ】 ブーケホルダー使用 生花、造花、ドライ比較解説 ブーケ(ブートニア)作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11.12	【生花のティアドロップブーケ】 ブーケホルダー使用 作り方説明 水揚げ・作成・リボン取付	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13.14	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ】 ブーケホルダー使用 ホルダー等のメリットデメリット解説 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15.16	【生花のキャスケードブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 水揚げ・ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
17.18	【アーティフィシャルフラワー、生花のブートニア】 作り方説明 生花水揚げ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
19.20	【生花のボールブーケ】 作り方、注意点説明 水揚げ・デザイン・ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
21.22	【生花のバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 ブーケ作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
23.24	【アーティフィシャルフラワーのマフブーケ】 作り方説明 ブーケ作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
25.26	【アーティフィシャルフラワーのテューテブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
27.28	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
29.30	定期試験:実技	持ち帰り用袋	なし

対象学年	1 学年	科目名	模擬挙式発表会	担当名	和田 翔太郎
対象学期(Q)	後 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数

到達目標	これまで学習してきた”結婚式”について、模擬挙式を行うことで実際にどのような流れで挙式が行われるのか実践する。 その中で、新郎新婦の視点だけではなく、親御様や列席者の視点、各スタッフとしての視点、について考えを深め、「いい結婚式」にするための要素を見出す。
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、約10年のブライダル業界経験を持つ講師が、模擬挙式の実践を指導する。 今回は過度にオリジナリティを追求せず、基本の動きについてより繊細に理解実践できるようになると同時に、特に挙式に関わる”人”についてフォーカスした案内や動きを考える。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋事前レポート提出30点、振り返りレポート30点、計100点満点で評価する。 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格)
履修に当たっての留意点	筆記用具

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1～4	2/12 1～4限 オリエンテーション・模擬挙式について 挙式オペレーション確認 チーム分け・役割決め	筆記用具	
5～8	2/13 1～4限 ドレス選定・動き検討・チャペル実践ローテーション 振り返りと模擬挙式の目標設定	筆記用具	役割決め 動きの確認・練習 (必要に応じて)
9～12	2/16 1～4限 ドレス着付け・動き検討・チャペル実践ローテーション 模擬挙式リハーサル 提出レポート準備	筆記用具	動きの確認・練習 (必要に応じて)
13～15	2/17 1～4限 模擬挙式最終準備調整 模擬挙式実践 振り返り・レポート提出	筆記用具	動きの確認・練習 (必要に応じて)

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	導入研修 I・II	担当名	岡覚子/島滝美奈子
対象学期	前 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す将来像を明確にする。 ・学生生活や実習活動、就職活動を円滑にスタートさせ、学校での学びを理解する。 ・相互支援的環境をつくる。
学習内容	これからの学習について理解を深めるため、体験型の授業を中心にウェディング分野の学びの楽しさや重要性を理解する。また、興味のある授業を見つけ、選択科目を選ぶヒントにできる。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格
履修に当たっての留意点	事前にインフォメーションをおこなう。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
<ul style="list-style-type: none"> ・アイズブレイク ・ウェディング業界の職種・仕事理解 ・就職活動・現場実習について 	授業内容に応じて 自宅学習
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェディング・ホテル業界の授業を受ける ・自分の興味のある授業を見つけ、選択科目を選ぶヒントにできる ゲストハウス ホテル フラワー セルフヘアメイク ドレススタイリスト 	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	国際教育	担当名	岡覚子/島滝美奈子
対象学期	後 期		講義 演習 実技 実習	単位/時間数	1単位 15 時間

到達目標	国際社会で求められる「英語コミュニケーション」と、日本人としてのアイデンティティである「日本の文化」をテーマとして本物に触れ、体感することを通して、将来のウェディング・ホテル業界で活かせる国際的な視野と新たな視点を培う。
学習内容	学外の会場や施設等で体験型学習を実施する。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格
履修に当たっての留意点	事前にインフォメーションをおこなう。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
・英語コミュニケーション イングリッシュスピーカーと英語でコミュニケーション(チームに分かれて実施) アトラクションエリアで英語コミュニケーションエアポートゾーンを体験する。 アクティブイマージョンではSDGsをテーマに英語を使って議論する。 事前課題の提出と参加後の事後レポート	授業内容に応じて 自宅学習
・和食文化理解 会席作法を通じて日本文化を理解する。 事前課題の提出と参加後の事後レポート	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	MAIHAMA ホスピタリティー	担当名	岡覚子/島滝美奈子
対象学期	後 期		講義 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	1単位 15 時間

到達目標	TDLオフィシャルホテルのサービスマインドを体感し、顧客サービスにおけるマインドや方法を理解する。
学習内容	TDLオフィシャルホテルで自らサービスを受けることで、お客様に楽しんで頂けることとは何かを考える学習とする。 事前課題や終了後のレポートを必修とする。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格 事前・事後レポート作成を必須とする
履修に当たっての留意点	事前にインフォメーションをおこなう。 パソコン持参のプログラムあり。 常に挨拶を心がけ、研修時に「うなづき」「あいづち」「アイコンタクト」を意識する。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
<ul style="list-style-type: none"> ・TDLオフィシャルホテルでの見学やレストラン体験などを通じて現場のサービスを体験する。 ・スタッフからTDLオフィシャルホテルでのサービスマインドを学ぶ。 	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ホテル宿泊客室実習		担当名
対象学期	前 期		講義	演習	実技・実習
			単位/時間数	2単位	30 時間

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの宿泊部門やホテルの働き方を理解できる ・お客様としてのホテルサービスの魅力を理解する。
学習内容	<p>実際のホテルの客室で宿泊サービス演習授業を行い、宿泊部門やホテルの働き方を学ぶ。ホテルサービスの魅力を感じることができる。</p> <p>ハウスキーピングなどの宿泊部門の仕事について学ぶ。</p>
成績評価の方法と基準	<p>70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する</p> <p>評価 S - 合格 U - 不合格</p> <p>事前・事後レポート作成を必須とする</p>
履修に当たっての留意点	<p>全てのスタッフに対して感謝の気持ちを持って接しましょう。</p> <p>常に挨拶を心がけること。研修時は「うなずき」「あいづち」「アイコンタクト」を忘れずに！</p> <p>今回訪問するホテルのことをホームページなどで調べて最低限の知識を持っていけるようにしましょう！</p>

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルに実際に宿泊し、実際のサービスを体験し、宿泊者視点でホテルサービスについて学び、考える。 ・ホテルに対して、宿泊者の視点を踏まえてサービスの提案を考える。 ・ハウスキーピングなどを実際の宿泊体験で考察する。 	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	現場実習 I	担当名	岡覚子/吉田大毅
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技	実習	単位/時間数

到達目標	職業人に必要な職業倫理、企業の方針や就業規則に関する規定等を守るだけでなく企業スタッフとのコミュニケーション、人間的なふれあいを積極的に行い、信頼関係を築けるような人間性・社会性を身につける。 ウェディング・ホテル業界の業種、仕事、ビジネスモデル(運営の仕組み)を理解する。
学習内容	現場実習を通して業界を理解し、専門的なスキルと接客スキルを学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格 実習報告書の提出を必須とする
履修に当たっての留意点	実習では、誰かに「教えてもらう」という受身の立場から、自分で「学びとる」という積極的な立場へと自己変革することが必要になる

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
<p>実習では目標を設定して臨むことが必要です。目標としては以下のような視点が挙げられます。個々人の状態や段階に応じた目標を設定して、有意義な実習を自ら作り上げてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の性格の特長に関心を持ち、理解することができる ②自分の行動を客観的に分析し、行動特徴を理解することができる ③自分のやるべきことの方角・目標を設定でき、主体的・能動的に実習に臨むことができる ④自ら笑顔で挨拶ができ、丁寧な言葉遣いでお客様・スタッフと関わることができる。 ⑤お客様や周りのスタッフに不愉快な思いをさせない身だしなみと服装で臨むことができる ⑥社会人としてマナー・常識の必要性を理解し、それを身につけることができる ⑦お客様の気持ちを理解し、思いやりの気持ちをもって丁寧に対応することができる ⑧現場スタッフと積極的に関わり、指示に対してしっかり行動することができる ⑨与えられた環境や考え方に対して理解を示し、適応できるよう努力することができる ⑩所属部署における自分の役割を理解することができる ⑪業界で求められる職業人としての姿勢・態度をもつことができる ⑫就職時に求められる専門的知識・技術を修得し、それを実践することができる 	実習先の事前理解